

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
52327	幼児教育方法 Methodology of Early Childhood Education	近藤 茂明	✓	専門	2	必修	2年前期

科目の概要

本授業では建学の精神に基づき、教育者・保育者の資質能力の育成を目指し、幼児教育・保育に関わる基本的概念・内容を理解させる。その実践的内容については、遊び活動等の指導・支援に関わる活動を通して行う。また、毎授業の進め方は基礎的内容の理解を土台として行い、必要に応じて適宜話し合い活動等を取り込んでいき、社会人基礎力の育成を意識した実践的な学修態度の育成につなげていく。

学修内容	到達目標
① 幼児教育・保育に関する基本原理・内容を理解する。 ② 基礎的内容の理解を土台として、実践的な内容を通じた具体的な学習活動（体験）を行う。 ③ 話し合い活動や文章記述等の言葉による表現活動を通して、自他の考えを深め合う。	① 幼児教育・保育をめぐる基本的な内容や考え方を理解し、今日的課題と結びつけて考察することができる。 ② 教師の力量向上に必要な資質能力について、具体的な学習活動（体験）を通して気づくことができる。 ③ 集団的な学習活動を通して様々な考えを比較し、自分の考えを言葉で整理して表現することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例

前に踏み出す力	主体性	自分自身の被教育経験、実生活、様々な関心と結びつけながら、学習活動や自己学習に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	自分の願いに沿った目標設定を行い、根気よく学習活動に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	与えられた課題だけにとらわれることなく、自ら新たな課題を見出すことができる。
	計画力	
	創造力	学習課題等に対して柔軟で多様な考え方で取り組むことができる。
チームで働く力	発信力	グループワークや全体発表において、自分の考えを整理して表現することができる。
	傾聴力	グループワークや全体発表において、他者と自分の考えを比較しながら、より深い考えを導き出すことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻や私語等、授業に支障をきたす行動を自粛して、円滑な学習活動を心がけることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：特に使用しない。必要な資料は授業中に配布する。
参考文献：必要に応じて、授業中に適宜紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他教科との関連（専門）保育原理（1年次）、教育原理・保育者論（2年次）、保育内容各論（1・2年次）
資格との関連：幼稚園教諭普通2種免許状、保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 毎授業中のグループワークや全体発表では、積極的な意見交流を心がけるとよい。 毎時間の学習内容は、予復習（課題）において関連する情報収集を積極的に行うとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎授業で配付する学習資料の予備は前回分しか保管しないので、忘れた際には出席者にコピーをもらう。 授業開始時には必ず携帯電話の電源を切るとともに、授業に向かう気持ちの切り替えを行う。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 設問内容の趣旨を理解し、授業内容をふまえて自分の見解を論理的に展開し、記述しているかを評価する。 以下の4項目の記述ポイントを合格の基準とする。 授業内容を基に記述しているか。 論点を整理して記述しているか。 自らの被教育(学習)経験をふまえて記述しているか。 自ら考えた代替案等を具体的に提示しているか。 (4項目+独創性=秀、4項目=優、3項目=良、2項目=可、1項目以下=不)		
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト			①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート		40		①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 毎授業の最後に振り返りとして行う小レポートの点数を平均して判定する。 (授業内容を基に、自分の考えをどこまで整理し深めることができたかを判定する)
						②	✓	
						③		
						④		
						⑤		
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)		10		①		<ul style="list-style-type: none"> グループワークや全体発表における表現内容・方法の明確さを評価する。 話し合い活動を高めていくための意見発表等における貢献度も評定として加える。 		
				②	✓			
				③	✓			
				④				
				⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10		①	✓	(主体性) <ul style="list-style-type: none"> 予習時に学習課題を自分自身の経験や関心に引きつけて取り組むことができる。 (実行力) <ul style="list-style-type: none"> 復習時に明確な目標設定を行い、根気よく取り組むことができる。 (課題発見力) <ul style="list-style-type: none"> 復習時に課題を広げ深め、自分の学習課題を発展させることができる。 (創造力) <ul style="list-style-type: none"> 授業中に他者の考えを柔軟に受け入れ、多様な学習活動に取り組むことができる。 (発信力) <ul style="list-style-type: none"> 授業中に自分の考えを整理し、相手に分かりやすく伝えることができる。 (傾聴力) <ul style="list-style-type: none"> 授業中に相手の考えのよさを受け入れ、自分の考えを深めることができる。 (規律性) <ul style="list-style-type: none"> 授業全体で遅刻や私語を自粛し、円滑な学習活動を進めることができる。 毎時間の提出物を期限内に確実に出すことができる。 		
				②				
				③				
				④				
				⑤				
総合評価 割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ★筆記試験において、論点を明確に整理して自分の考えを論理的に記述できている。(①) ★小レポートにおいて、該当授業の要点を的確にまとめ、焦点を絞って自分の考えを振り返ることができている。(②) ★話し合い活動や発表において、他者を受け入れながら、多様な考えを表現することができている。(③) ★授業参加において、全体の学習活動の高めていこうとする積極的な態度をもって授業に貢献することができている。(④) S(秀) = ①+②+③+④ (各項目25点合計100点中90点以上) A(優) = ①~④の80点まで到達した場合	<ul style="list-style-type: none"> ★筆記試験において、論点をふまえて自分の考えを記述できている。(①) ★小レポートにおいて、該当授業の内容に触れ、自分の考えを振り返ることができている。(②) ★話し合い活動や発表において、自分の考えを整理して表現することができている。(③) ★授業参加において、自分自身を自制した態度で、学習活動に取り組むことができている。(④) B(良) = ①~④の70点まで到達した場合 C(可) = ①~④の60点まで到達した場合

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	<ul style="list-style-type: none"> 本授業の全体概要と進め方、留意事項を理解する。 自分自身の被保育経験を振り返り、保育のイメージをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ガイダンス 話し合い活動 	<ul style="list-style-type: none"> 本授業の目的、進め方、留意点を理解することができる。 	(予習) シラバスで本授業の概要を確認する。 (復習) 学習内容を整理し、今後の見通しを立てる。	90 90	規律性
2週 /	<ul style="list-style-type: none"> 現代の保育を巡る社会的状況とその問題点、ならびに保育者の位置づけを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 質疑応答 復習のまとめ発表 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の保育を巡る社会的状況とその問題点を理解することができる。 	(予習) 現代の保育を巡る社会的状況を調べる。 (復習) 既習事項の整理を行い、関心事を調べる。	90 90	実行力 創造力
3週 /	<ul style="list-style-type: none"> 『保育要領』『幼稚園教育要領』の歴史の変遷と各特徴を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 質疑応答 復習のまとめ発表 	<ul style="list-style-type: none"> 国の保育教育政策の概要を理解することができる。 	(予習) 『保育要領』『幼稚園教育要領』を通読する。 (復習) 既習事項の整理を行い、関心事を調べる。	90 90	課題発見力 発信力
4週 /	<ul style="list-style-type: none"> 幼児の教育方法と関わりのある歴史的人物(ペスタロッチ、フレーベル、モンテッソーリ、倉橋惣三等)の果たした役割を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 質疑応答 復習のまとめ発表 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児の教育方法と関わりのある歴史的人物の果たした役割に気づくことができる。 	(予習) 保育教育に関わる歴史的人物を調べる。 (復習) 既習事項の整理を行い、関心事を調べる。	90 90	実行力 創造力
5週 /	<ul style="list-style-type: none"> 保育方法に関わる3つの基本的アプローチ(行動主義的、精神分析的、構成論的アプローチ)の各特徴を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 質疑応答 復習のまとめ発表 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児に関わる様々なアプローチの仕方とその特徴に気づくことができる。 	(予習) 幼児との関わり方について、自分の考えをまとめる。 (復習) 既習事項の整理を行い、関心事を調べる。	90 90	課題発見力 発信力
6週 /	<ul style="list-style-type: none"> 保育実践を創り上げる「サイクル」について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 質疑応答 復習のまとめ発表 	<ul style="list-style-type: none"> 保育教育の実践を創り上げる全体の仕組みを理解することができる。 	(予習) 保育実践の創出について、自分の考えをまとめる。 (復習) 既習事項の整理を行い、関心事を調べる。	90 90	主体性 創造力
7週 /	<ul style="list-style-type: none"> 保育者の「省察」を行う手だてを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 質疑応答 復習のまとめ発表 	<ul style="list-style-type: none"> 保育教育の実践を創り上げる省察の意味を理解することができる。 	(予習) D.ショーンの「省察」について調べる。 (復習) 既習事項の整理を行い、関心事を調べる。	90 90	主体性 発信力
8週 /	<ul style="list-style-type: none"> 幼児教育方法を支える活動①「関係」について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 質疑応答 復習のまとめ発表後、フィードバックする。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間関係の充実につながる「関係」の指導援助の意味に気づくことができる。 	(予習) 保育者と幼児との関係について自分の考えをまとめる。 (復習) 既習事項の整理を行い、関心事を調べる。	90 90	規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	・幼児教育方法を支える活動②「遊び」について考える。	・講義 ・質疑応答 ・復習のまとめ発表	・現代の保育を巡る社会的状況とその問題点を理解することができる。	(予習) 遊びの役割について調べる。 (復習) 既習事項の整理を行い、関心事を調べる。	90 90	実行力 創造力
10週 /	・幼児教育方法を支える活動③「生活」について考える。	・講義 ・質疑応答 ・復習のまとめ発表	・国の保育教育政策の概要を理解することができる。	(予習) 生活の役割について自分の考えをまとめる。 (復習) 既習事項の整理を行い、関心事を調べる。	90 90	課題発見力 発信力
11週 /	・保育教育の現代的課題として「食育」「障害児保育」「家庭との連携」について理解する。	・講義 ・質疑応答 ・復習のまとめ発表	・幼児の教育方法と関わりのある歴史的人物の果たした役割に気づくことができる。	(予習) 保育教育の現代的課題について調べる。 (復習) 既習事項の整理を行い、関心事を調べる。	90 90	実行力 創造力
12週 /	・保育教育を進める上で「事例研究」のもつ意味について具体的な作業を通して考える。	・講義 ・質疑応答 ・復習のまとめ発表	・幼児に関わる様々なアプローチの仕方とその特徴に気づくことができる。	(予習) 保育教育の「事例研究」の意味を調べる。 (復習) 既習事項の整理を行い、関心事を調べる。	90 90	課題発見力 発信力
13週 /	・保育教育実践を考える①として、「遊び活動」「絵本の読み聞かせ」について指導計画案を作成する。	・グループ活動 ・復習のまとめ発表	・保育教育の実践を創り上げる全体の仕組みを理解することができる。	(予習) 具体的な指導に関わる教材研究を行う。 (復習) グループ活動の内容整理、全体発表の準備を行う。	90 90	主体性 創造力
14週 /	・保育教育実践を考える②として、「遊び活動」の全体発表会を行い検討する。	・全体発表 ・意見交流	・保育教育の実践を創り上げる省察の意味を理解することができる。	(予習) グループ内の役割分担にしたがって発表準備を進める。 (復習) 次時のグループ活動の内容整理、全体発表の準備を行う。	90 90	主体性 発信力
15週 /	・保育教育実践を考える③として、「絵本の読み聞かせ」の全体発表会を行い検討する。 ・全授業の総括を行う。	・全体発表 ・意見交流 ・全体総括 フィードバックする。	・人間関係の充実につながる「関係」の指導援助の意味に気づくことができる。	(予習) グループ内の役割分担にしたがって発表準備を進める。 (復習) 本授業全体の学習内容の整理を行う。	90 90	発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力